

生きていける賃金を出せ！ 希望者を全員、正社員にしろ！

CTS 職場ニュース

動労千葉（国鉄千葉動力車労働組合）

2021年11月5日

南船橋
事業所

6月からずっと欠員状態 CTSは新規募集を行い必要な要員を補充しろ！

動労千葉は10月28日、南船橋事業所の要員問題でCTSと団体交渉を行った。CTS本社が「JR東日本の赤字」を理由に新規募集をまったく行わず、大幅な欠員のまま現場に矛盾をしわ寄せしている実態が明らかになった。（団交でのやり取りは、以下のとおり）

6月に3名退職、長期病欠も

組合：私が入った時は47名が南船橋の標準数と言われた。6月に3名が退職し、現在は44人。加えて病欠が2人も出ている。副所長も穴があいた担務に入っている状況だ。早急に補充を。
会社：6月から千葉事業所から助勤に入ってもらった。作業軽減、業務の見直しも含めてなんとか対応している。

コスト削減のしわ寄せで超勤も

組合：休勤や超勤は？
会社：多少出ている。仕事が終わらないから2時間の超勤で対応してもらおうとか。
組合：辞めた人の仕事が割り振られてプラスされてるからだ。
組合：助勤の方は家が遠く、朝5時半に家を出てきている。無茶苦茶、無理をさせて、それで「助勤でなんとかかなってる」と言えるのか。
会社：今後は異動を考えている。探している。
組合：なぜ新規募集をしないのか。
会社：必要なタイミングには募集はする。
組合：いまがそのタイミングだ。どうあっても新規募集すると言われてしているのか。

<CTS南船橋事業所の要員問題>

- 6月に3名の方が退職
（社員1、契約1、パート1）
- 2名の方が病欠（4月～、6月～）
→千葉事業所から助勤1名
（6月～11月？）
→現在も、新規募集での補充なし！
11月は勤務指定の段階で、副所長がシフトに入らざるをえない状況

会社：いまは助勤と異動で考えている。来春のダイ改や、次期の契約内容がはっきりするまで新規は採れない。

「ダイ改まで我慢しろというのか」

組合：それまであと半年、現場は我慢しろということか。みんな年休だって取るのを我慢しているのではないか。11月の勤務発表では最初から副所長がシフトに入っている。
組合：南船橋の所長はどういっているのか？
会社：助勤にプラスして、もう1名、異動で社員がほしいと言っている。今、検討している。
組合：現場長も言っているんだから早急に新規募集を強く申し入れる。かたくなに要員補充をしないで現場に矛盾を押し付けるのは許されない。急いで仕事をしたら必ずケガなどがおこる。そうなる前に要員補充を。
組合：また、いまの南船橋の状況からも、65歳以降の雇用継続を希望するエルダーについては今働いている事業所で再雇用すべきだ。（以上）